

『気候変動のもと これからの治水対策について考えるシンポジウム』が開催されました！

日時：令和3年12月12日（日）13:00～16:00
会場：会津若松市生涯学習総合センター 會津稽古堂
～プログラム～

- ◆ 開会
- ◆ 阿賀川直轄改修事業経過説明
- ◆ 阿賀川直轄改修100周年記念事業紹介
- ◆ 伝統芸能披露 「小松彼岸獅子」
- ◆ 学習発表 川の学習を通して「総合的な学習の時間」
- ◆ 基調講演
「治水ルネッサンス～気候変動下で持続的でレジリエントな流域づくりを目指して～」
- ◆ リリーススピーチ
「気候変動による災害の激甚化と阿賀川におけるこれからの川づくり」
- ◆ 閉会

主催：阿賀川直轄改修工事100周年記念事業実行委員会
(会津若松市、喜多方市、会津坂下町、会津美里町、湯川村、下郷町、
福島県会津若松建設事務所・喜多方建設事務所・南会津建設事務所、国土交通省阿賀川河川事務所)
協力：特定非営利活動法人 会津阿賀川流域ネットワーク、阿賀川・川の達人の会



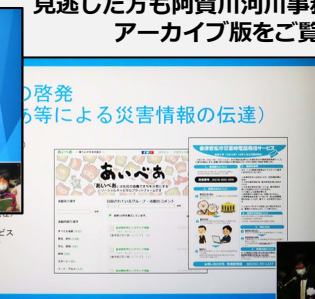
このシンポジウムは、阿賀川直轄改修100周年を迎えるにあたり、阿賀川流域内の社会経済と川との関わりをあらためて認識するとともに、これまで実施したきた改修事業を振り返り、その効果について再確認したうえで、気候変動によるリスクの増大に備え、防災をはじめとしたこれからの川づくりのあり方について考えることを目的に開催しました。
130名の皆さまにご来場いただくとともに、YouTubeで同時配信しました。

YouTubeリアルタイム配信も実施しました！

見逃した方も阿賀川河川事務所公式チャンネルより
アーカイブ版をご覧ください！



YouTube配信画面



開会挨拶



実行委員長・会津若松市長 室井 照平

来賓挨拶

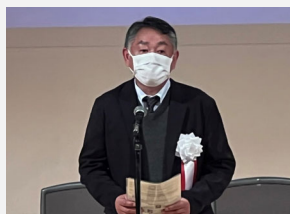


衆議院議員 小熊 慎司 氏



衆議院議員 菅家 一郎 氏

閉会挨拶



北陸地方整備局 河川部長 丸山 準

ご来賓として、衆議院議員のお二人からご挨拶をいただきました。
小熊氏は「世界的に脱炭素の取り組みが進むが気候変動は急に収まるわけではなく、治水事業をしっかりと進めていく必要がある」と治水対策の重要性に触れられ、また、菅家氏は過去の災害を振り返りつつ、「災害の様相がこれまでと変わってきており、国、県、地元が連携を図って地域を守っていかなければならない」と述べられました。

改修事業経過説明



阿賀川河川事務所 副所長 佐藤 利行

小松彼岸獅子



会津若松市立川南小学校

6年生
による17名
演舞

記念事業紹介



特定非営利活動法人
会津阿賀川流域ネットワーク理事長
石田 明夫 氏



阿賀川・川の達人の会 会長
藤田 勝彦 氏

学習発表



会津若松市立大戸小学校

4年生
3名
による
発表

『気候変動のもと これからの治水対策について考えるシンポジウム』が開催されました！

基調講演

演題

「治水ルネッサンス

～気候変動下で持続的でレジリエントな流域づくりを目指して～



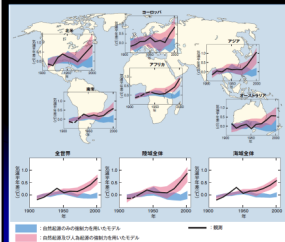
国立研究開発法人土木研究所
水災害・リスクマネジメント国際センター長
小池 俊雄 氏

変革の方向性：科学技術による突破力と実装力

文科省、気象庁、環境省による気候変動予測
地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベース(d4PDF)
・ 全球：解像度60km、過去6000年分、将来2℃上昇3240年分、4℃上昇5400年分
・ 日本付近：解像度20km、過去3000年分、将来2℃上昇3240年分、4℃上昇5400年分
地球と人々の未来を共に描く。気候変動予測データベース構築プロジェクト推進プログラム。



気候は変化しているのか？ 何が原因か？
20世紀半ば以降に観測された世界平均気温の上昇のほとんどは、人為起源の温室効果ガス濃度の観測された増加によってもたらされた可能性が非常に高い (IPCC, 2007)



小池氏はまず、近年の気候の変化に人為的な影響が大きいことに触れ、気候の変化によってこれまでと異なる水害リスクが高まるなか、河川の流域全体のあらゆる関係者が協働して行う持続可能な治水対策「流域治水」への転換の必要性を示されました。
そしてこの「流域治水」では特に、「誰かがやる」ではなく「誰がやる」という「わがこと感」の醸成、科学技術と社会をつなぐ、つまりは専門性の高い情報をわかりやすく伝える人材の育成が重要と述べられました。

リリーススピーチ

テーマ

「気候変動による災害の激甚化と阿賀川におけるこれからの川づくり」



コーディネーター
日本大学名誉教授
長林 久夫 氏



コメンテーター
基調講演講師
小池 俊雄 氏



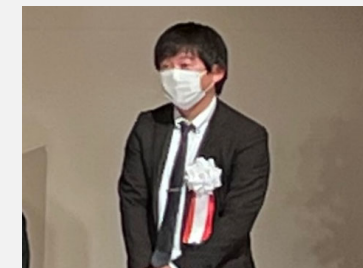
スピーカー
福島地方気象台長
桜井 美菜子 氏
「地球温暖化と会津の気候」



スピーカー
会津阿賀川流域ネットワーク理事長
石田 明夫 氏



スピーカー
実行委員長・会津若松市長
室井 昭平



スピーカー
阿賀川河川事務所長
峰 隆典

「阿賀川（大川）の洪水被害と治水史」「住民防災意識の啓発と流域治水の本市の取組」「阿賀川流域の治水安全度向上の取組」



リリーススピーチではテーマに沿って、4人のスピーカーから会津の気象、阿賀川の歴史から治水対策の現況、今後の展望が示され、小池氏がそれぞれの話題を掘り下げつつ各方面の取り組みに心強さを感じると述べられました。最後に長林氏が「流域治水」について、さまざまな対策の効果の「見える化」を図ること、洪水被害を「自分ごと」として防災・減災に活かせるかが重要とまとめられました。